

いちモニ 実施報告書

アンケート名称	下水道利用に関するアンケートについて
担当部・課名	下水道部 下水道経営課
アンケート概要（実施期間 令和 8 年 7 月 9 日～令和 8 年 7 月 18 日）	
公共下水道への接続促進に向けた施策検討の参考とするため、アンケートを実施いたしました。	
市政への反映状況等	
【現在の下水道のご利用状況について】 ・公共下水道を使用されている方が 81.2%、浄化槽・汲み取り便所を使用されている方が 18.8%となっております。現在、浄化槽・汲み取り便所を使用されている方にも公共下水道を使用していただけるよう、効果的な接続促進の施策を検討していく必要があります。 【公共下水道へ接続した方への調査結果】 ・「切替工事のタイミング」は、物件を購入（または入居）した際に既に接続されていた方が 62.5%、浄化槽から下水道へ切替工事を行った方が 15.7%、住宅の建て替えのタイミングで接続した方が 4.1%でした。 ・「接続工事を行った理由」は、「市から通知や説明があったため」が最も多く、「浄化槽の維持管理（清掃・点検）の手間をなくしたかったため」、「近隣世帯が接続したため」、「川や海などの水質保全（環境保護）のため」、「側溝の臭いや蚊・ハエの発生を抑えたかったため」の順となっています。市からの通知や説明が切替工事に取り組む契機となっていることがわかりました。 【公共下水道へ未接続の方への調査結果】 ・「切替工事を行っていない理由」は、「下水道が整備されていない」が最も多く、「接続工事にかかる費用（自己負担分）が高い」、「浄化槽（汲み取り）で不便を感じていない」、「浄化槽の故障や建て替えなどといったきっかけがない」、「接続工事の手続きが分からない」、「私道所有者間の合意形成が難しい」、「工事業者の選定が難しい」、「宅地内の工事	

（庭やコンクリートの掘削）を避けたい」の順となっています。

なお、「下水道が整備されていない」と回答された方のうち、下水道整備地区にお住まいの方も多く含まれており、周知方法等について検討が必要であることがわかりました。

・「貸付制度の周知度」は、内容を知らない方を含め、知らなかった方が 87.1%でした。

・「貸付制度の利用意向」は、貸付制度を使用せず工事を行うと回答した方が 27.3%、条件付きも含め貸付制度を利用して接続工事を行うと回答した方が 41%、接続予定なしと回答した方が 31.7%でした。

・「貸付制度の限度額」は、現行のままでよいと回答した方が 21.8%、増額を希望した方が 72.8%でした。

・「私道助成制度」について、制度の周知度は内容を知らない方を含め、知らなかった方が 86.4%でした。

・「私道助成制度の利用意向」は、申請期間の延長や合意形成の緩和を条件に含め、制度を利用すると回答された方が 95.5%でした。

貸付制度・私道助成制度ともに、より効果的な周知方法を検討するとともに、必要としている方がより使いやすい制度にしていく必要があります。

・貸付制度の利用予定はなく、接続予定なしと回答された方が、下水道への接続を検討するケースとしては、「浄化槽の故障など（下水道に接続しないとならなくなったとき）」、「家計にゆとりがでたら接続する」、「建て替えやリフォーム時に接続する」、「私道所有者間の下水道工事の合意形成ができれば接続する」、「接続する手続きが分かれば接続する」、「下水道へ接続したくない」の順となっています。

「接続予定なし」と回答した方にも、下水道へ切替工事を行っていただく必要性を継続的に周知するとともに、よりよい施策を検討していく必要があります。

この結果を踏まえ、市民の皆様に公共下水道への接続促進にご協力いただける施策の検討や今後の取り組みの参考にいたします。ご協力ありがとうございました。